

道頓堀川(大阪府大阪市)「大阪市かわまちづくり」

- ・平成24年度より、公募により選定された民間事業者(南海電鉄)が「とんぼりリバーウォーク」(水面も含む)の管理・運営を行い、オープンカフェやイベントの誘致、広告事業などを展開。
- ・こうした取り組みによりし、多くの店が川に入口を向けたり、民間による観光舟運も活発に行われるなど、さらなる賑わいの創出につながっている。

周辺コンテンツとの
一体的な利活用

遊歩道(とんぼりリバーウォーク)
整備期間:平成7年度~平成24年度
整備主体:大阪市
管理主体:南海電鉄(株)

京橋川(広島県広島市) 「水辺のオープンカフェ」

- ・「水辺のオープンカフェ」は、**水の都ひろしま推進協議会が全体をコントロール**。出店者の選定及び契約の締結等を実施
- ・協議会は、概ね3年ごとに出店者の評価を実施し継続を判断。出店者は、常に企業努力を重ねるため、魅力的な空間が維持され、河川への利用者数も増えている。

持続可能な
利活用の推進



信濃川(新潟県新潟市)「信濃川やすらぎ堤かわまちづくり」

- ・平成28年2月「都市・地域再生等利用区域」に指定。
- ・平成29年度は、**世界的なアウトドアメーカーであるスノーピークが区域全体のマネジメントを実施**
- ・「アウトドアと健康」をテーマに統一的なデザインによる魅力的な空間形成を進めているところ、オープンカフェやジェラートなどの飲食店等14店が出店し、夏の3ヶ月で3万人を超える利用者が賑わう。

持続可能な
利活用の推進

巨大津波の襲来



死者; 3,553人 (関連死含む)

行方不明者; 418人

建物被害; 全壊 20,044棟

半壊 13,049棟

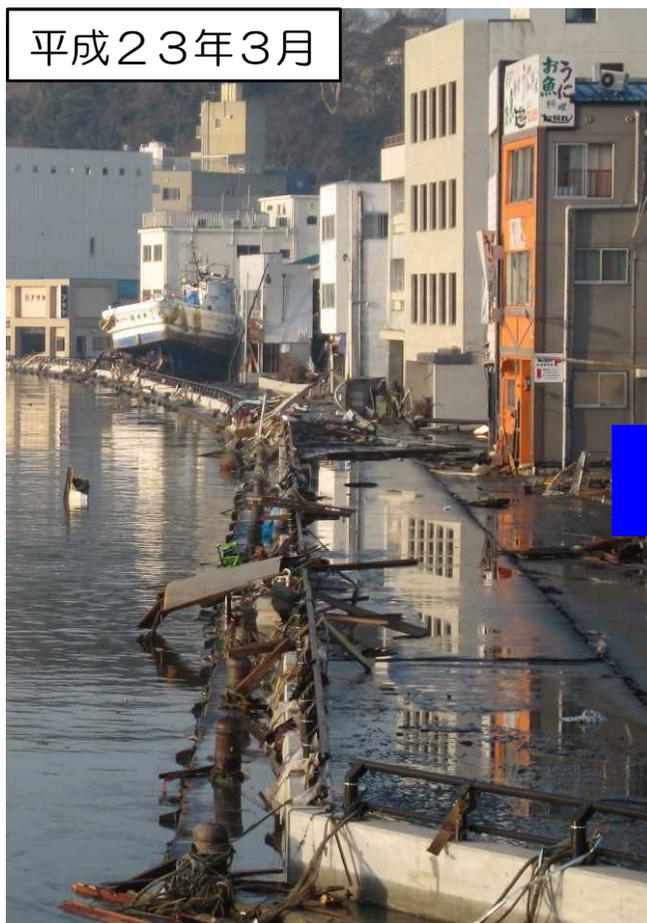
津波高さ; 最大T.P+8.6m

<出典: 石巻市 令和3年2月末現在>

堤防締切に至るまでの経過（段階的に安全度向上）

- 広域的な地盤沈下（約60cm）も発生したため、浸水被害拡大や二次災害を防止するために、高潮に対応した仮復旧堤防の設置を行い、その後本格的な堤防整備を進めました。

平成23年3月



被災直後の浸水状況

平成23年8月

5.8kmにわたって復旧



応急復旧状況

現在



堤防完成

石巻市との連携した「かわまちづくり」の推進

石巻市と国が連携して水辺整備を推進

いしのまき水辺の緑のpromenade計画

石巻市

国交省

石巻地区かわまちづくり環境整備事業(国交省)

●水辺の緑のpromenade計画イメージ(中心地付近)

※堤防と一体的にpromenade(散策道)を整備し、水辺利用の促進を図る計画



プロムナードルート



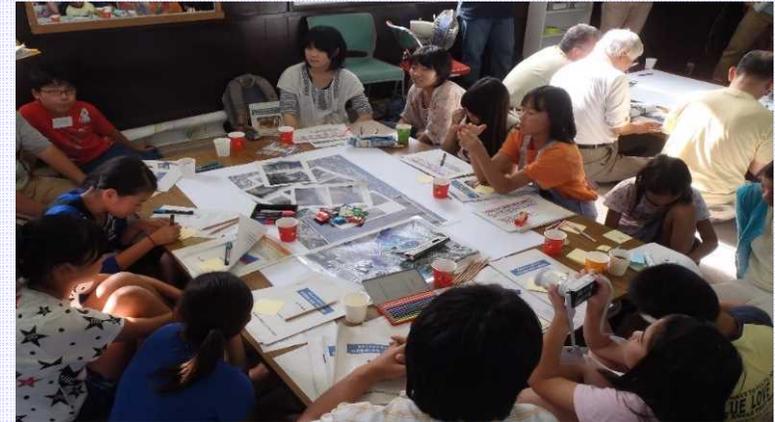
四阿(あずまや)



ベンチ



連携
整備



復旧状況



堤防一体空間の利活用(石巻かわまちづくり)／中央地区 周辺概要



日常的な利用状況



イベント時の利用状況

堤防一体空間

○堤防と建物の間に盛土をして、建物の2階から直接水辺空間に出ることができる



堤防一体空間／中央地区 利活用状況①



キッチンカー物販



さんま祭り



トリコローレ音楽祭



水辺で落語

堤防一体空間／中央地区 利活用状況②



花火観覧



水辺でヨガ体験



水辺でライブ



映画上映会



← 旧北上川